

広域民放テレビ局の地域性分析

—TV メタデータからみる府県別放送内容—

○脇浜紀子 Noriko Wakihama

Keywords : 放送、地域性、地域情報、TV メタデータ、民放テレビ

1 目的

本研究の目的は、広域圏の民放テレビ局（関西広域圏）が、放送対象地域内の府県の情報をどのような割合で取り上げているかを明らかにし、放送サービスの地域性の現状を問うことにある。経済的基盤もある都市部を抱える広域圏では、放送以外の新たな地域情報サービスが生まれる可能性もあり、主要地域メディアである地上波テレビ放送の地域性機能の現状を明らかにすることで、どの地域、どの分野にその可能性があるのかの検討材料を得ることにもつながる。

2 方法

本研究の調査・分析方法は、TV メタデータを作成・提供するエムデータ から、2017 年度の関西の番組シーンデータの提供を受け、府県別にその内容を分析する。TV メタデータとは、株式会社エム・データが、東京・名古屋・大阪地区のテレビ局で放送されたテレビ番組や CM について、「いつ」「どこで」「何が」「どのように」「何秒間」放送されたかをテキストデータ化しているもので、茨城県水戸市のデータセンターで、24 時間 365 日体制で常時 40 名前後のスタッフが、実際に放送を見てデータ生成している。今回提供されたのは、54,562 件の番組シーンデータで、大阪府で視聴可能な地上波テレビ放送である民放・NHK 合わせて 7 局が対象となっている。

3 結果

分析の結果、上位から、番組ジャンル別では、「ニュース／報道」が 53%、「情報／ワイドショー」が 35%を占め、話題分類別では、「社会」が 40%、「暮らし」が 28%、「文化・芸能」が 11%、「政治・国際」が 10%であった。次に、関西広域民放 4 局（MBS/ABC/KTV/YTV）の番組ジャンルが「ニュース/報道」「情報/ワイドショー」であるローカル枠シーンデータ（25,289 件）を抽出して分析すると、府県別の話題放送時間は、大阪 45%、兵庫 25%、京都 14%、滋賀 6%、奈良 5%、和歌山 5%であり、これは世帯総数比率にほぼ等しい。しかしながら、話題分類別でみると、たとえば「政治・国際」で大阪 67%。兵庫 20%、京都 4%、滋賀 4%、奈良 3%、和歌山 2%と偏りがあった。

4 結論

公共的役割が期待される放送サービスにおいては、エリア内の情報を偏りなくカバーする地域性が求められるが、関西広域民放の扱う地域情報には、話題によって府県で濃淡があることがわかった。放送のネット常時同時配信時代を迎え、民放ネットワークが支えてきた「中央-地域」の情報流通モデルが帰路に立つなか、地域情報分野には新規の映像メディアサービスを含めて参入の余地があり、ローカルメディアの再構築を行なって、地域情報充実化に努めるべきである。